

水源禅師法話集 61

(2016年9月20日 大阪合宿4日目)

2017年1月19日

一乗禅の会



目次

質疑応答.....	1
愛の瞑想.....	1
机も生命体、国自体も生命体、宇宙自体も生命体.....	4
台風生まれ変わる？.....	5
不浄観.....	7
お釈迦様の正見により阿羅漢になった銀細工師.....	9
正見とは？.....	11
苦の原因は何処にあるのか？.....	11
涅槃に達する第一関門は「正しくものを見る」という事.....	12
受随観の受は受想行識の受.....	13
お釈迦様も悪い過去世があったの？.....	15
カラーパが観えた白隠禅師.....	16
カンチャパ仏陀にダーナをして地獄から出て来られた比丘のお話.....	16

質疑応答

愛の瞑想

【水源師】

それについてまず、質問あれば？何か疑問点ありますか？大丈夫ですか？そうしたらそのまま瞑想を続けて下さい。

それから今日から愛の瞑想、ブッダの瞑想、死の瞑想、不浄の瞑想、毎日紹介して行きますから、チャンティングの後に一日一つずつ。後その中から皆さんが好きな時、疲れた場合は、この四つから一つ選んでやって下さい。やり方教えますから。教科沢山あるでしょ？それじゃ。

— 読経タイム —

それでは、続けて愛の瞑想のやり方を教えますけれど、お釈迦様はこの様に言いました。

METTĀNUSSATI

(パーリ語読経)

Attupamāya sabbesam-Sattānam sukha Kāmatam

私と他の方達を比べて愛の瞑想をしましょう。

Passitvā kamato mettā-Sabba sattesu bhāvaye.

この愛を全ての生きとし生けるものに対して送りましょう。そして全ての衆生の幸福を求める事を満たしてあげましょう。

Sukhi bhavēyam niddukkho-Aham niccam aham viya

私は深い悲しみより自由になり、いつも幸せであります様に。また私は私の生活に置いて心配が無い様に。また私の様な思いを抱く方々も同じ様になります様に。

Hitā ca me sukhi hontu-Majjhata tha ca verino.

また他の方達は私と違わない様に。また他の方が私をとてもしじめて嫌いな方も、また私と同じ様に幸せであります様に。

Imamhi gāmakkhettamhi-Sattā hontu sukhi sadā

また全ての生きる者も、また同じ様に幸せであります様に。

Tato param ca rajjesu-Cakkavālesu jantuno.

また他の国、地に住む方達も、またこの大なる世界に住む全ての生き物達も幸せであります様に。

Samantā c akka vālesu-Sattānam tesu pānino

全ての生きとし生ける全ての世界の生き物達も、また全ての者達も、大地であり、空であり、サンガであり、大海であるその物の命も。

Sukhino puggalā bhutā-Atta bhāva gatā siyum.

そうしてこの太陽系、そういう宇宙の大地に住む全ての生きとし生ける惑星達よ、最高の静寂を持ちます様に。

Tathā itthi pumā ceva-Ariyā anariyā pi ca

Devā narā apāyatthā-Tathā dasa disāsu cā ti.

この様に女性達も、男性達も、貴き方々も、また世俗の方々も、神々も、また恐ろしい暗き世に住む方々も、全ての生き物達よ、この天、十方大世界の方々よ、全て幸せであります様に。

という風にお釈迦様は唱えました。で、この様に私は日本語で言いましたけれども、これを心の中で一つ一つ、口ではただ唱えるわけではないのです。例えばですね、「自分が幸せであります様に」とまず言いましたね。だから自分をしっかりと観てその様に、瞑想しながら言います。

また、「他の方々も同じ様に、悲しみより自由になり、幸せであります様に」と。他の方々と言うのも、必ず自分の知っている友人、お父さん、お母さん、それから家族、そういう知っている方々が全て入ります。しっかりとそれは、ヴィパッサナーですから瞑想して下さい。その方達のイメージが必要です。ただ口だけではありません。

そして「私に知らん振りをする方々も、また私をととても嫌いになる方々も、全て悲しみより解放され、幸せであります様に」。会社とか、町で全く知らん振りする冷たい人に対しても、また逆に自分を嫌いである人に対しても、同じ様に祈りを捧げて下さいという、良いですか？必ず一回一回完全にイメージして下さいよ。写真で見る様に。そうすれば効果があります。ただ口で唱えるだけでは、殆ど効果なし。ただ呪文を唱えるのみで、それは効かない。

次に、また「全ての生きとし生ける者達も幸せであります様に」。というのは、自分の町、村、都会に住む全てのワンコちゃん、ネコちゃん、鳥、全てがまた同じ様に幸せであります様にと。また「この日本国に住む全ての生き物も幸せであります様に」。「衆生、日本国民、それから外国の方も、この大地に住む全ての方々、また全ての野に住む、山に住む、水に住む生き物に対しても同じ様に、それから飛ぶ鳥も同じ様に幸せであります様に」。そしてまた、他の国々に住む方も、例えばお隣の韓国、中国、ロシア、タイランド、中近東、ヨーロッパ、アメリカ、全世界の国々も同じであります様に。まあ、細かく行けば強烈な時間が掛かりますからそこは適当にして下さい。

そして「全世界の全てのこの地球の生き物達ですね、同じ様に悲しみより解放され幸せであります様に」。また、「この地球外、他の世界に住む生き物達も同じであります様に」。つまり他の惑星でも生命体があると今は言われています。また、他の太陽系に住む生き物もあると今は言われています。昔は、なかったですね。だからお釈迦様はもうちゃんと言っているわけですこの様に。

それからその後は、「全宇宙の生き物達も、また他の宇宙の生きとし生けるもの達も」。つまりこの宇宙はこの一つと言っているでしょう。今はもう沢山の宇宙が繋がっているという事が言われ始めています。お釈迦様はもうそこまで言っているわけなのです。だから私がよく宇宙の事とか、太古の幻の文明を言うのはここがポイントなのです。ここを外せばね、ここだけ

の事だけ考えれば、もはや仏教ではなくなるわけです。それは哲学の思想であって、本当の真の教えからは離れます。だから太古の文明から全て言うのはここにあるわけです。本当の愛というのはここにあります。

そして先程言った様に、全ての宇宙の惑星に住む方々もまた同じ。また地球自体も生命体です。太陽も生命体です。Elementと言うのは物質です。Element といのは結局、水あるでしょう？海あるでしょう？空これもまた生命体なわけです。だから目に見えるものでも、見えないうちのものでも、こういう事になります。

ダイヤモンドの命は大体二百万年、真珠の命は二百年。宝石によって其々生命の長さがあります。大体ダイヤモンドは二百年万経てば、結局色を失って黒くなってカーボンになります。それが生命体で、ダイヤモンドに光を当てれば、色々反応します。それも生命体です。生きているわけなのです。だから宝石学をした人は、良く宝石が生き物達と言う事をよく理解しています。ですから身体に宝石を着ける事によって、この私達の biological、肉体に非常に影響を与えます。だから皆さんは、よく寂しいので結局女性は特に宝石が好きだというのは、いつも温かく生命体と一緒に居られる様に、指輪とか、首飾りを着けます。

つまり全てが命を言う事をお釈迦様は言っています。バクテリアもそうです。だから無駄にバイ菌を殺せばそれが反逆して、大変な猛毒を作り上げます。その昔、あれでしょう？結核といのは大敵でしょう？それで抗生物質をドンドンドンやったら、今度はスーパー結核と言う病原体が発生し始めた。益々悪くなる。まあ、適当にそこは医学ですから野放しにも出来ないし、適当にコントロールしなければいけないのしょうけれど。まあそういう事でエレメントと、四大(ドライラマ法王様が非常にここを力説していました)。

凄いですよ、お釈迦様の言っている事は。知識を体験すればするほど、もう広大な世界が広がって行くし、他の宇宙空間もまた、繋がりで観え始めたら、全くそのものをお経で言っています。ただ観えないから、適当に私達の頭で考えてお経を作り変えるから、それはお釈迦様の言葉じゃありません。

はい、そして最後は、『Tathā itthi pumā ceva-Ariyā anariyā pi ca』。この様に全ての女性、男性、また貴き仕事をされている方、また世俗で一般の方々も同じ様に。また、天界の神々も、また地獄界に落ちた方々も、その全ての方が幸せであります様に。

こう言う事をお釈迦様は言っています。後で詳しく知りたい場合には、また説明しますけれど、大体この様にザラーツと今すぐ瞑想したい方はこれでも良いです。で、今まで通りの瞑想を続けて、自習時間にやってみても良いですし。

はい、良いですか？大体分かりましたか？

机も生命体、国自体も生命体、宇宙自体も生命体

【参加者】

地球とか海？とか、生命体というのは、例えばこの机は生命体ですか？

【水源師】

ここにやはり、無意識的なエネルギー体になっています。で、ここに魔が入れば非常に悪い事が、その家庭で起こります。ある人がカンボジアで大金持ちが、新しい家具を買ったらしい。その家具を買って家に入れた後、商売がどうも旨く行かなくてどんどん破産して行くので、「これはどうしたものか？」と。で、私をととても大切にしてくれた王様の宮殿の住職様が、「ああ、じゃあそれはここに持って来なさい、その家具があるはずだから」。で、お寺でお祈りしてそのまま置いておいたら、その家が突然また元に、商売が旨く行くと。という生命体になっているわけです。だから下手に家具だとか、物とか言ってね、生命体が無いと言ってむやみやたらにやったら、どういう事になるか分からないから、ま、適材適所で使って普通にしていけば良いという事です。

つまり、どんな方でも卑しめてはいけません。どんな物に対しても、結局「これは使い物にならない」と言う風な事はやめなさい、と言うわけ。例えば私が家を造り直した時に、コンクリートの塊があるわけですね。普通はそれを捨てに行けばお金を取られるし、もうゴミなわけです。ところが、それを大事に使ってきれいな石段にした訳です。見たでしょう？

【参加者】

「はい」

【水源師】

で、長年一緒に居たものだから、バイブレーションというか、そう言う物があると思うのですが、そう言う風に大事に使って、また、家の土台の梁の材木があるわけです。それが腐って良くないわけです。それをまた投げるのにお金が掛かるから、適当に切って今度は花壇にしたり、それから石畳の枠にして使ってあげました。

ま、そう言う事で、あなたの身体も全て four element (四界分別) から出来ている。ルーパ (色)。ルーパと言う物が全世界を構成する最も大事な生命体なわけです。大乘ではこれを四大と言います。四大。だから四大は、いつも暴れ狂いまくった大蛇の事だから、決してこの世は平安である事はないと。必ずや苦が起こりますと。だってルーパ自体はね、発生、それから成長して持続、そして落ちます。ちょうど人間の生命、こう赤ちゃんから生まれて死ぬ軌道と殆ど似ています。

ま、そう言う事で。宇宙自体も生命体、国自体も生命体です。だから国が発生して、また死滅して、またその様な国が発生しては死滅して行きます。私達の身体の中にも沢山の無量の生命体があります。私達が死ねば、この無量の数えきれない生命体も死んで行きます。私達はこの地球に住んで、地球が死ねば私達も死にます。地球は結局熱を持っています。

その nuclear 天然の原発です。これで何時も熱を発生しているから、太陽の熱だけでは、この地球の温度が保てないから氷の様になってしまいます。ですからこの大地からいつも自然放射能が出ています。でまたこの地場によって宇宙の赤外線とか、宇宙線 (cosmic ray) を遮断するから私達は生きて行けますけれども、これが薄れた場合には、植物とかそれから野生の動物とかどンドン死に始めます。今がその状態です。

ただ私達はね、あなたと私が話しているから生きている生命体だと思いますけど、また、犬ともお話出来ます。猫ちゃんともお話し出来ます。魚ともお話出来ます。ただその反応の仕方が違うだけで感情は一緒です。可愛がればパクパクと「餌、頂戴」。いつも餌やらなければパッと逃げて行って、近寄らない。で、優しい人だったら、ニコニコ私達は笑うでしょう？いつも冷たくしている人達は近寄らないでしょう？そういう事です。

あのクラウドと言うプログラムあるでしょう？コンピューター。この雨風、雲あるでしょう？これに全て情報が組み込まれているわけですよ。私達が今言った事、全てこの雲の一つ一つのエレメントが変わる事によって。だから無量の情報を入れるハードディスクなわけです。だから地球自体が、もう生きているわけです。クルクル変化したり、とか。私達は、想像出来ない事がドンドン起こって行くわけです。風も発生して死ぬでしょう？台風も発生して。あれも短い生命体。ただそれが見えないし言葉が通じないから、「ああ、あれはただの風だ」と。ところが、弘法大師様級になれば、拜んでその台風が避けて行くと。雨風が避けて行くと。お話が出来るわけです。

私達はそう言うスーパー生命体を、神々と言います。キョトンとしますね？だから私達のこの頭脳は、これくらいしかない。お釈迦様はその偉大というより超偉大なわけですね。だから今、現代科学とピタッと合うわけです。

台風生まれ変わる？

【参加者】

先生、じゃあ、台風生まれ変わるという事もあるわけですか？

【水源師】

もちろんそうです。

【参加者】

輪廻転生で。

【水源師】

そうです。だから私達はね、ただ人間だけが生きていると思いがりがあるけれども、全てがこう命なわけ。この大宇宙自体が命だから。それが観えた時に納得します。瞑想して下さい。

【参加者】

(笑)。

【水源師】

考えても分らない。そのエレメントも命であると言うのは、空を通過して、空空の世界に入った時に、それが観え始めます。だから当然キョトンとするのは無理ないです。だからまあ何とかして空を通過してみたい人は、そうじゃなくてもね、愛の祈りを捧げればそれで十分なわけですよ。ただ私が説明して、そう言う事を知りたいと言う方は、こう言う道がありますよと。でも私はあなたを背負っては、エベレストの山には登れません。あなたに歩いて貰わなければいけない。でも道は教えます。

じゃあ、愛の瞑想に対して質問があれば回答しますがけれど、大体分りましたね。まず自分をしっかりとイメージしなければいけない。で、自分が幸せであり、また全ての苦しみから解放されると。そう分った時に、近くの人達ね。例えば塾の先生方とか、お父さんとか、家族とか、友人とか、広げて行くのだけれども、お釈迦様はこの様に言われたわけです。後は、その文化の違いによって違って来ます。



不浄観

【参加者】

正見の話を・・・。

【水源師】

正見の話ですね。正見。よく般若心経では「照見？照らして見る」ですけども、この場合は「正しく見る」と。その正しく見る、これ以外に涅槃に達する道は無いと、第一。その正しく見る目によって、涅槃に達します。

それはどういう事でそうなるかと言えば、哲学的に言えば頭が痛くなるので、またお釈迦様の話からしますね。お釈迦様が祇園精舎でね、説法をしていた時に、これは有名な話です。シャーリプトラ(舍利弗)、もう比丘第一と言うか、一番弟子と言われるシャーリプトラさんが、お弟子さんを彼の所に入団させたわけなのですね。ところが幾ら教えてもなかなか進化しないわけですよ。でもこの人の才能は素晴らしいし、困り上げた果てに、お釈迦様の所に相談に行ったわけですね。今でもそうですけれども、南伝では、アスバ(asubha)と言って不浄観と言う事をやらせるのです。

これ非常に大切な科目なわけですね。というのは皆さんこう綺麗にしたり、こう着飾ったりとか、それが大好きでしょう？これによって命は永遠であるし、何時でも美しいと。死に対しての今度、恐怖が非常に強いし、それでこの肉体が絶対的なものであると言う事を否定する為に、結局不浄観と。アスバ。それでこう人間が死んで腐ってずうっと観て行くわけですね。本当にどろどろして汚いですね。

法随観の場合はこれを初歩段階で抜かします(最終課程でこの本源を観ます)。ただ Marananussati(死随念)と言う事で、自分がいつ死ぬか、何処で死ぬか、と言う教科が入ります。で、死に方によっては、その先の教科を教えます。ですから死の瞑想はこの様に使います。

で、このアスバ。アスバはどうしてドロドロ汚くなるかと言えば、結局アニチャ・ドウッカ・アナッタ(anicca:無常、dukkha:苦、anatta:無我)と言うこの世界があるでしょう？これ三つ合わさればね、ドロドロしたアスバになるわけです。いつも変化する。それから空(スナター)。アナッタ・無我。そこはドロドロしたエネルギー体になるわけです。

ですから法随観の時は、これを初歩段階で外すわけです(現代西洋社会は商業経済主義の影響で、小さい時より綺麗な物しか受け付けない心で育っています。)それで Marananussati を観た場合は Asuba を観なくても良いわけです。で一般の場合は、瞑想がこうそういう心の惑わしによってなかなか出来ないから、特に男性は綺麗な女性を見たら、いつもワクワクワクワクするようなので、特に若い人は。それで結局アスバと言う、そういう人間の身体はね、女性は天女みたいに綺麗に見えるけれども、実の内容を見たら、腐って死んで行けば、もう本当に手も触りたくないものだと。

と言うのは 2500 年前でも男の心情は同じだったのですね、結局、今は身体を売る商売と

かそういう人はね、非常に蔑まれますけれども、その当時の綺麗な女性はムービースターみたいに見えるわけですね、だから一夜千金のお金を払っても、その人と一夜過ごしたいとその時代の一般の男性は夢見るようです。まあ今の常識とは違う世界なわけです。

だからお坊さんがこうピンダパータ(pindapata:托鉢)して歩くでしょう？ そうしたら特に綺麗な女性がね、好きなお坊さんにこうお供えするわけです。何故かと言ったら、もう清廉潔白で、そういう素晴らしい男性は滅多にいないからこう行列で歩いて来たら、この人がもし私に惚れてくれたらこれは大成功と。本当にそうなのです。それに修行しているしね、清廉潔白で、「やあ、この男性と結婚したら間違い無し」と言う事。現代でもそうですよ。だから沢山の、その普通お坊さんになれば本当に真理を求めるから、普通の世俗の男性と違うわけですよ。

だからよく誘惑されてね、やっぱり結婚しちゃって、「何だ、この今まで一生懸命お供えして来たのに」、と騙されたみたいな事が起こっていたようです。本当に起こってしまうと言う事が、現実にも今でも沢山あります。女性としては、やっぱり素晴らしい男性と添い遂げるのが夢ですからね。そりゃ必死ですよ。特に一攫千金としても超美人達は、こう見てもそれ相応の男性が来て欲しいから、それはその色艶は良いし、もう天女が現れたみたいな錯覚が発生するわけです。

それでよくお坊さん方は2500年前でも誘惑されたようです。それであるお坊さんが、結局投げ餌やられてね、結局そのお坊さんが通る事が分かっているから、こういう超べっぴんの、何と言うの？ 花魁と言うかね、そう言う人が子供達を前に出して、子供達がお坊さんにピンダパータするわけですね。そしてそれで釣られて段々、段々と奥に入れて、今度はその女性がこう色々とおもてなしして、それでやっぱり、身体の動きもその手の動きも、こう仕草をするわけです。どうしても何かホロッと落とす様に。まあそれでもお釈迦様は、そうさせない為に声援するわけ。「頑張れ！ 頑張れ！ 誘惑に負けない様に！」と。これはダンマパダに書いてあります。本当の話です。

だからそう言う事で、やっぱりこれはね、この世の中は男の生命体、女性の生命体、これ当然そうなるのが当然の様に出来ているわけです。でそれによって、生死があつてこの宇宙がクルクル回る梵天の何重もの網の中にありますから、そう簡単にこの網の中からでられないわけです。で、それはそう言う事だから私達の中から見たら、何もおかしい事でもないのですけれども。これは結局宇宙的な事から見たらね、アニッチャ・ドウッカ・アナッタ、これがアスバ。ドロドロした死体の、本当の姿はそうであると。未だに永遠に生きてる方は居ません。

だからそういう迷いで惹かれていっても、結果的には人生がそういう無駄になると言う事で、本当に修行をする人達は、まず迷わせない為に男、女性の方々を離れたわけです。じゃなきゃ修行出来ませんよ。修行の最中にクルクル頭が回ってそっちの方に心が向かいます。それでそれを、結局何と言うの？ 誘惑、マーヤー(maya:幻)、陽炎の如し、ね。本当はそうではないのに、実態はそうである様に見えるわけです。

だから正しく見る事が出来ない。だから正しく見ると、その物を正確に見る為には、こう言う超べっぴんで宇宙の花であっても、死ぬ時はこういうドロドロしたものであると。ところが若い男性は、永遠に生きると思うし、この女性も永遠なるものと思うわけです。この永遠なるものの

為に命までも掛けてとか、色んな悲劇があるでしょう？これが原因なわけです。

お釈迦様の正見により阿羅漢になった銀細工師

で、まあ話は、二つのダンマになりますけれど、それでこのシャーリプトラのお弟子さんがね、幾らこのアスバの行をさせても、不浄観、全然全然進歩しないわけです。これを通過させなければ、いずれにしても誘惑されて修行が駄目になるから。かと言って、シャーリプトラから見たら、素晴らしい才能があるから、困り果ててそれでお釈迦様の所へ行ったわけです。

お釈迦様は「何で来たのか？」と。「いや実は、幾ら不浄観をやらせても、全然進歩しないのです」と。「普通それをやるとすぐ通過して次の段に行くのに。まあ、なかなか旨く行かないのです」と。「でもこの比丘は、素晴らしいものを持っているのです」と。それで「じゃあ、よしよし、連れて来なさい」と。でお釈迦様の所に連れて来て、そしたらお釈迦様が、この人を池の側に連れて行って、池には綺麗なハスの花が咲いているわけです。「よしよし、お前、これをじっと見なさい」と。

お釈迦様の目から見たら、この銀細工師は、綺麗な物ばかり作っているわけ。特に金が好きで、お釈迦様の目から見たら500世、銀細工師だと。だから汚い物には拒絶反応起こすわけ。ところが綺麗な物には、拒絶反応を起こさないわけ。それでお釈迦様が池の側に連れて行って、そしてその綺麗なハスの花を見ていたら、ジーツと見ていたら、そのハスの花の花びらが一つ一つ落ちて行くわけです。そして中の実もこう萎んで段々汚くなって行くわけです。で、それを一日中見ていたら、この銀細工師さんが、真理を悟ったわけ。「この世に永遠の物は無し」と。「永遠と言う美しさも無し」と。

彼はもう天才的な銀細工師で、そういう物を作るもう超スーパー細工師だから、永遠なる物があると言う、さっき言ったまやかしで、私達の目から見たら芸術的にまやかしではないですね、ところが、大きい目で見たらそれも正しい見方ではないわけです。でも500世の間、銀細工師で一心にやったお陰で、それにハタと気がついた時に、一日の内に阿羅漢になったわけです。究極の真理を見たわけ。

そうしたら祇園精舎の比丘達が大騒ぎして、「わあ、やっぱりお釈迦様は凄いものだ」と。「空第一を分るシャーリプトラ様でも、これ程の事は出来ない。やっぱりお釈迦様だ」という風に、そう皆が騒ぎ立てたから、「いやいや、そうではないのだ」と。私が21代目の時に生まれて1,2、こう輪廻転生して21代、500代目でお釈迦様になったのだけれども、菩薩行の。21、確か21だと思う。(本をめくり)25番だ。25番5世の時に菩薩になってから、

その時にお釈迦様は王様に仕える大臣で、それでその時に王様がとっても可愛がる馬がいたわけですね。で、やっぱりそういう監督する方が、「何か知らないけれどこの王様のこの馬は、水を飲みにも行かないし、水の側に行かない」と。「これはどうした事か」と。でそのゴータマブツダ菩薩がね、王様が相談して「これはどうした事なのか」と。

そしてゴータマ菩薩が、その馬を見に行ったら、これと言って病気は無いし、で、ずーっと観測していたら、このお馬さんは他の馬の後に水浴びとか、そこの川辺に行くのは嫌だったみたい。何故かと言ったら、このお馬さんは「私は王様の馬で、その世俗の馬の後に水に入

りたくない」と。慢心ですね、慢心。ま、そういう風な事が分ったから、だからその馬の監督に、「いやこの馬は、一番最初に入れなさい」と。でまた、「次から次と他のため池とか池とかね、川辺に連れて場所を変えて洗わせなさい」と。そうしたらこの馬は、とても喜んで又元気になったわけですね。

と言う風にその当時から、お釈迦様は人でも馬でも、心を観る力があるわけですね。で、ただそれだけの事であって、この銀細工師さんの心を観た時に、実はそうであったから、それだけの事であって。「それは過去私がそういう神通を持っていて、それをただ使っただけだ」と。「何も私が天才的でそういう特別な行をしたわけではない」と。と言う話なわけです。

というそういう事を「正しい見方」と言います。だからただ正しい見方も奥が深いから、それで私達はじゃあどうしたら良いのかと。どうしたら正しく見られるのかと。それは、結局「これは良い物である、これは良くない物である」と言う認識が必要だと。じゃあ、どういう風に認識したら良いのか。それをね、こういう風に言っていますね。(本をめくり)もう年取っているからね、なかなか眼鏡掛けなきゃ見えないのです。

結局それは、「悪いと言う事は、結局生きている物を殺す事です」と。また、「取ってはならない物を取る事です」と。また、「嫌がる女性を無理やりそういう事をするのも悪い事です」と。また、「本当でない事を言うのも悪い事です」と。また、「悪意のある話も悪い事です」と。それから「激しく叱咤する言い方もこれは悪い事です」と。また、「色々人の噂をするのも悪い事です」と。また、「妬み、人が持っている妬み、これも悪い事です」と。また、「悪意ある事もまた悪い見方です。これが正しくない見方です」と。

その原因は何かと言ったら、その強欲。何でも私の物、またあれは嫌い、これは嫌い、嫌悪。「ああ、あの人は嫌いだ」とか、ね。「こういう食べ物は大嫌いだ」とか。またはね、そういうさっき言った誘惑され様とするお坊さんね、「綺麗だ」と。それから銀細工師さんが、やっぱり「これは永遠なる物である」という風な、本当でない物の見方が原因である。

で、私達の世の中は、結局本当でないのを本当である様に作られていますから、正しい物の見方で見る事は殆ど不可能。正しい物の見方が見えないが故に、衝動で涅槃とか、悟りを開くのは殆ど不可能。という風な社会に私達は生きています。でなければ物が売れないでしょ？特に商業経済政策では、さもそれが素晴らしい事であると。

でその、いや何と言うの？若い女の子達がダンスして踊って、やあ「キヤツ、キヤツ、キヤツ」と踊り、それを見ながらこれは素晴らしい事だと、男の人達はまあ夢中になって、のぼせ上がって、そうしたらテレビとかメディアがワアーンとものすごく騒いで、ドンドコドンドコやるでしょ？歌も上手いし、綺麗だし、踊りも素晴らしいし、皆で「ワッショイ、ワッショイ」って「ああ素晴らしい！」って言って、男の人達(笑)。だれがNo.1、No.2ってね。

だからその2500年前も今も心は一緒なわけです。それは綺麗な女の子が悪いと言う事ではないですよ、全然。それは良い事です。ところが、本当におかしなもので、ある国では女性は顔を見せてはいけない。今度は逆の意味で正しく物を見ていない。正しく物を見ていない国は、昨日お話した様に、今惨憺たる事態が起こっているでしょ？もしここはたとえ正しく無い様に操作されても、仏国だからこういう風に文献も見えないし、その罫から出る方法をお釈迦様は教えているわけなのです。

正見とは？

特に私達はね、本当はそうではないのにそうであるみたいに、結局昨日説明した様に、生老病死、生きる事もドゥッカ(Dukkha: 苦)であると。そのドゥッカと言うその生とドゥッカがどう繋がるかと。普通は子供が生まれれば、ああ、素晴らしい事であるし、皆お祝いするし、どう言う事なのかと。昨日詳しく説明しましたね。By the birth 生まれによっての事であると。

例えば、結局その顔を隠さなきゃいけない国に生まれたら、この女性はもう生まれながらにして、天界の素晴らしい美を貰っているのに、見せる事も出来ないし。女性として天然の身体を持って何も悪くないのに、全部隠さなきゃいけないと。卑しめられる。と言う事を説明しましたね？

だから「如何に正しく物を見るか」と言う事が大切であって、これが結局「正しく物を見る、正しくお話をする、正しく考える、正しく行動する、正しく生活する」と。その第一番にある正しく見えなきゃもう開き目くらだから、あとの4つが続かないでしょう？で、その八正道の正道で、この後は、精進とそれから瞑想とそれから後は、パニヤ、叡智を得ると。叡智を得る最初がこの正しい物の見方。この正しい物の見方によって、結局アニチャ・ドゥッカ・アナッタのこの世。だからどんな事をして、生まれ生まれ生まれ、苦苦苦の中で行くから、その内にどんなに頑張っても、暗き世に悪世の中に入る可能性がある。だからこれを如何にして、この苦の中から抜け出る事が出来るかと言うのが、お釈迦様の話であるわけです。

苦の原因は何処にあるのか？

そして、じゃあ苦の原因は何処にあるかと。四つの真理ですね。苦の原因は何処にあるかと。この苦の原因は、結局「しがみ付く事にある」と。こういつでも喉が渴いた様に欲すると。これはどう言う事かと。まあ、色んな学説で唱えていますけれども、実態はこうです。必ず輪廻転生するでしょう？この12因縁の中の、結局その転生する時に、やっぱり生命体が来て滅びるでしょう？滅びる時に「もう一度生きたい」と。「この生命を持続したい」と。最後の最後まで死に絶える生命体にしがみ付くわけですね。この原因によって、新しく生まれます。

ただし生きている時に、良い事をすればその可能性が、とても幸せな情景になりますね。そのさっき言った銀細工師の時のお釈迦様の王様はアーナンダなわけです。で、馬使いのその監督はシャーリプトラだったわけです。で、お釈迦様は大臣だったわけ。と言う風に、良い因果関係は何処までも続いて行くわけです。で、その時にもし人を殺めたり、それから盗みをする団体の中で一生暮らしたとすれば、そのメキシコであるでしょう？麻薬。アメリカに売って、アメリカの人も買ってという、そういう暗き世の人達がいっぱいいますね。で、そういう人達が、また死に絶える時に、良い事していないものだから、これはとっても恐ろしい所に行くし、人間の生命体を持つかどうか分からない。

という事が、結局国破れて仕事もない、何もない、もう最下層でイタリアから来たと、じゃあする事は何かと。やはりそういう世界に入っている。まあ、アイルランドも大飢饉で、殆ど餓死したわけです。それでアメリカに行って、もう服もボロボロ、仕事もないと。そうしたら生きる糧は何があるかと。その時は結局禁酒の世の中で、酒飲んだら刑務所に入るわけ。キリスト教では、禁酒と言って酒を飲んではいけませんと。それは天罰にあたる非常に悪い事だから、一切のお酒を飲む事を辞めさせたわけです。だから結局ジョン・F・ケネディ大統領のお爺ちゃんは、アイルランドから来て、それでお酒を売って莫大なお金を儲けた。

で、今現在そういう風にアメリカは暗き人達が政権を取ったわけですね。実態はそうなのです。結局暗き人の心が、結局政権取っているものだからずっと、表は幸せなように見えるけれども、内部は惨憺たるもので、若者は戦場に行って戦うのが名誉だという風に作られていますから。実態はそういうもの、名誉も何も無いし、ただ国の為に死んで馬鹿を見るだけだという仕組みになっているわけ。

という風に命にしがみついてそこに生まれたらどうしますか？ 生まれないという絶対的な保証は無いわけです。だからどう転んでも、この宇宙はアスバで出来ているから、こういう風な状態に何時かはなると、誰も彼も。それでお釈迦様が4つの真理。結局「この世は苦である」と。そしてそれが集まって、集積して。でその集積した物を如何にして打ち壊して、完全に二度と生まれぬ様にするかと言う、4つの真理ね。四諦。この事なのです。

涅槃に達する第一関門は「正しく物を見る」という事

ですから、こういう涅槃に達する第一関門が、「正しく物を見る」と。その正しく物を見る、見られない原因は、さっき言った事だから、その逆をやれば正しく物を見られると。正しく物を見れば、正しく考えられ、正しい行動が出来、正しい言葉を使い、正しい生き方が出来ると。そして後は、結局真理を求めて、努力して下さいと。真理を求めて努力する最高の法は、今皆さんがやっている、今修行しているこの事です。瞑想です。で、宇宙最高のご褒美が来ます。

今日もPさんが、とうとう本当の愛を体感されて、私も本当に嬉しいです。私はとても感謝します。これでまた一つ法の花が、日本に咲きました。という私ではなく、お釈迦様の教えなのです。だから私がパーリ語で唱えたでしょ？それを暗証してもダメなのです。私がお釈迦様の言葉で言った事によって、このPさんが、実は法随観求めて私が強烈に修行させたわけです。で、もうギブアップして、しないと。でも現象を見たら、「ああ、この人は愛の瞑想をやれば成功する」と。それで今日愛の瞑想を教えたわけです。そうしたら結局お釈迦様の事態が、発生した様に、すぐにスツと行っちゃうわけです。もうちょうど花咲く時期に来ているわけですね。だからその法随観一本で行かなくても、ありとあらゆる方法があるわけなのです。それが結局、金剛般若波羅蜜多経にあるわけ。「いちいちの衆生がいちいちの手法で涅槃に達します」と。とか「そういう事が垣間見る事が出来る」という事が、今日現実に起こったわけです。

ま、そういう事で、後は質問ありますか



受随観の受は受想行識の受

【参加者】

ヴェーダナヌパッサナーをやっているのですが、受随観の受けると字は、これは何故受けると言う字なのですか？

【水源師】

受想行識の受。

【参加者】

パーリ語から？

【水源師】

はい、パーリ語からの訳です。

【参加者】

音を当てて、そういう漢字になっているのですか？

【水源師】

音じゃなく、結局観るでしょう？そして受けるでしょう？これが受けるから受でしょう？結局パ
ーリ語では違う言い方をします。鼻でこう感じるでしょう？つまり感じる、受けるでしょう？だから
受です。受想行識、この4つはサンカーラ(行)の仕組みなのです。識、意識のあれで、色
はルーパね、物質です。この物質と受想行識が一致して、五蘊照見空が出て来ます。だから
その過程がこれだけこう圧縮されたから、結局その法随観の場合を見たらこれくらい分厚
い本になるわけです。ずうっと過程やった場合に、この受想行識が観えるわけです。

ところが殆どの方は、昔でも、今でも、それだけの時間の余裕もないし、生活の経済力とか
無いから、そういう法を持ったお寺も何処にあるか分からないし、それで文献で今まで来た
わけです。で、達磨大師が来て直接教えようとするけれども、非常に難しいから。結局六祖
大師が、慧能様が天才的に直接空を観せる方法を取ったわけです。

結局私が今日、海潮禅を披露したのは、阿弥陀の国を観るには、法然上人がやったカシ
ナ(kasina:遍)の太陽と水を利用して、それを観せる事が出来るのが法然上人のやった『名
号一万劫一日』。それをずうっと続けて行くわけです。そしたらそういう一心によって、そういう
状況が現われて来て、結局水が観えて太陽が観えて、水の中に緑色の光臨が出て来たと。
で、それによって阿弥陀の国を観たと。

でもそれをやるには、相当の時間があるでしょ？これは善導大師からの手法で、今絶えて
しまったわけですね。実際にどうしてやったら良いか。という指南する人がもういないから、現
在ではもうただ仏説三部経の中に、その事が書いていますけど。それで私が偶然観音様か
ら、金剛山系の中のお寺を回っていた時に、観音寺があって、それで何故か観音様に帰依
して、こう海を見ていたわけですね。海潮禅をやっていたら、同じ状況が発生して、なるほど。
それでご指導しているわけです。これも私のものではなく観音様の恵みで今ここに来て、そ
こに近い体感されている方ももう出始めています。だからこれは全て天界の恵みによって今
発生しているわけですよ。

でもあまり沢山教えたら、どっちをやったら良いか分からないでしょ？だからまず丹田でやっ
てみて、それぞれの心の発生によって、そっちの方に持って行くと。この中には皆さん相当
なところまで行っている方が相当居りますよ、だからそのままずうっと続けて、前代未聞だと
思いますよ。ニミッタ(丹光・禅相)も沢山の人が観るし、なかなか観られないのです。パオの
本部でもニミッタも100人いれば1人観ると言うくらいです。それがここではゴロゴロ観ている
から、驚嘆しますよ。ま、そういう事で、(質問が)なかったら今日はお終いにしますか？

お釈迦様も悪い過去世があったの？

【参加者】

ジャーナカ物語で、僕もちよっと読んだのですけれど、子供用の本で割と簡単なやつだったのですけれど。

【水源師】

良いですよ。

【参加者】

お釈迦様はずうっと過去世があると思うのですけれど、割とよく良い事、良い過去世が多かったと思うのですが、悪い時ってあったのですかね？

【水源師】

ありました。

【参加者】

酷い過去。

【水源師】

そう、1500の過去を調べたら、結局1000の過去は悪い、非常に悪い過去世だったと。ある時はネズミに生まれて、非常に苦労したと。とか、そういう話があります。

【参加者】

へえ。今、菩薩行に入られて割と・・・。

【水源師】

そうです。それからずうっと良い事ばかりして生きて来たわけです。

【参加者】

ああ、なるほど。

【水源師】

ですから、そういうね、間違っただ物の見方をしたら良い事ないですよ。いう事を長い人生の体験に基づいて、真理を持ってきているわけです。後は無いですか？

カラーパが観えた白隠禅師

【参加者】

白隠禅師様なのですけれど、筆で丸を書いた物があるみたいなのですが、ちょっとネットで見たのうろ覚えなのですが、何か研究者の方が調べるとこう粒の数が、粒子が全部大きさが一緒だったみたいな事が書いてあったのですが、それはどう言う事なのでしょうか？

【水源師】

まあ、結局ニミッタみたいに白隠禅師級になれば、物質がこう書いても粒粒が一つ一つカラーパ (kalapa:聚) みたいに発生するのでしょうかね。

カシャパ仏陀にダーナをして地獄から出て来られた比丘のお話

【参加者】

明日、希望者の方に彫刻で地蔵菩薩を彫って貰おうと思うのですが、地蔵菩薩について少し話をお願いします。

【水源師】

いやあ、地蔵菩薩は、もう大変な方で、まあこれ以上の菩薩は無いと言うくらい。まあ実は大日如来様と一緒に位ですね、菩薩として下に置いてますけれど。「この地獄が空っぽになるまでは、私は絶対に仏になりません」と。「空っぽになるまで、私は地獄から人を救い出します」と。「どんな小さな理由であろうと、救い出します」と。

で、私がパオに居た時に、お話ししたと思いますけども、この比丘は非常に修行が良くて若くて私を随分助けてくれました。この方によって私もスーッと、非常に早い時期に終わったのですけども。6生前に彼は3人の女性を殺したわけです。焼き殺したのです。それもやきもちによって。まあ、家を焼いたわけですね。まあ、グワァーっとなったか何かで。その詳しい内容は、言いませんけども、聞かなかったけど。まあ本人が。

で、地獄に入って行ったわけ。で、何処に落ちたかと言ったら、ただ「熱い、熱い、熱い」と火に焼かれる事だけ覚えていると。で、「いやあ、お前良く出て来れたな。どうして出て来れたのだ？」。「いやあ、実は私は生きている時に、カシャパブツダ (前のブツダですね、ゴードマブツダの前) の時に、実はダーナ (布施) したのです」と。「ダーナしたから、その理由で私は出て来た」と。「でも、出て来て生まれたのは、結局足が無い不自由な身で生まれて来て、一生路上で暮らしました」と。「でも、ビタ一文も取らないし、悪い事は一つもしなかった」と。「そのお陰で次の輪廻は女性に生まれまた」と。で、「女性に生まれた時に、一心に仏に帰依して、花をお供えて、いつもお経を読んで、そういう風に暮らしました」と。「そのお陰で過去3代、全て比丘、比丘の生まれになりました」と。で、「来世は兜率天に行きます」と。

つまり、どんな小さな理由であっても、そのダーナしたという事で救われたりもすると。でなければ、一劫どころか、経典見ても分る様に、想像絶する時空に入るはずですよ。またシーンとして(笑)。私達は、と言う事が全く見えない、ドンチャン騒ぎしているけれど、だから如何に宇宙の果てまで宇宙船で飛んで帰って来たって、それは全く意味の無い事。死んだ時に何処に生まれ落ちるかが最も大切な事で。何処に上がり生まれる(天界)か、また何処に行くかと言う事が、大切な事だと思いますよ。

という風に、凄い叡智を私達は受けているけれども、これもまた消え去るわけですね。今まだこうして私が、飛行機で世界を回れるから、こういう報告出来るけども。これが一時代前だったら、50年100年前だったら全然出来ません。夢物語の夢。だから私が言ったでしょ？正法、それから弘法、シラ(戒律)、布施、経典、これからまたヴィパサナー、サマタ、シラ、ダーナ、で結局パティパッティ(patipatti:経典を読む聞く)、経典仏教。パリヤッティ(pariyatti:経典を深く洞察する)、パティパッティ、パティヴェーダ(pativedha:瞑想)がまた今発生しています。

だから、今皆さんがこういうお話が聞ける事は、結局私ではなく、釈尊の温かい心で来ているのですよ。今日も、もう何か邪気が入ったのか足が痛くなって、こんな事一回も無いし、私の湖のお寺では、まあ、天国みたいに楽しいのに、何でここ、こうなったのか？と言うくらい(笑)。

まあ、そう言う事で報告しましたが、お釈迦様は一生懸命応援していますよーって。ただ私は運よく何か比丘の衣を着せてもらってますが、ちょっと比丘の方では、でくのぼうで恥ずかしいくらい全然良くないのだけれども、お手伝いさせて戴けるという栄光を受けていますけれど。小間使いの何か坊主がね、ちょっとお手伝いしているから。ちっちゃい坊主がヨチヨチ歩いてそんな感じですけど、ね(笑)。



水源禪師法話集 **61**
(2016年9月20日 大阪合宿4日目)

2017年1月19日 発行

編集兼発行 一乗禪の会